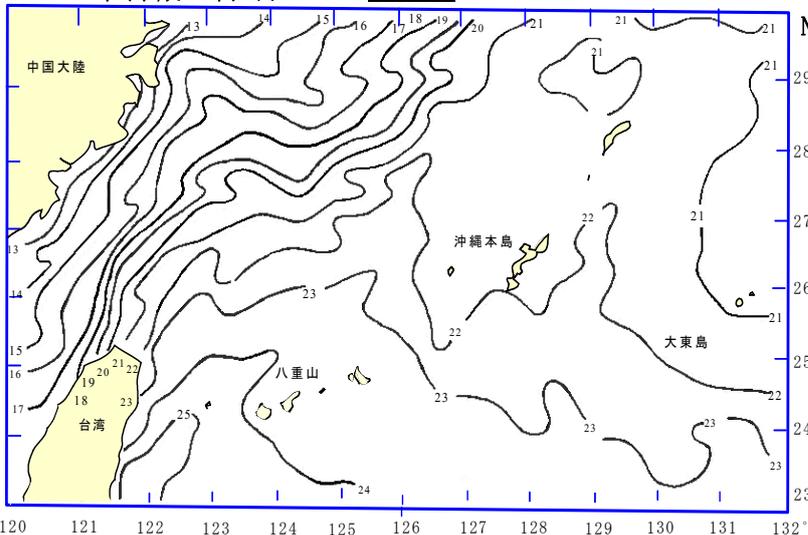


漁海況情報

2006年(平成18年)2月 第399号

沖縄県水産試験場

901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号
 電話 098-994-3593・3597
 ファクシミリ 098-995-2357



N海況
 表面水温：2/14(2/12~2/13)
 与那国島・八重山は24℃台、
 宮古島は23℃台、
 久米島・沖縄島西側は21℃台
 南・北大東島は20℃台で、
 前月中旬より1℃ほど降温した
 (図1)。

図1. 表面水温分布図(2006年2月14日) 資料：東シナ海海況速報(漁業情報サービスセンター)

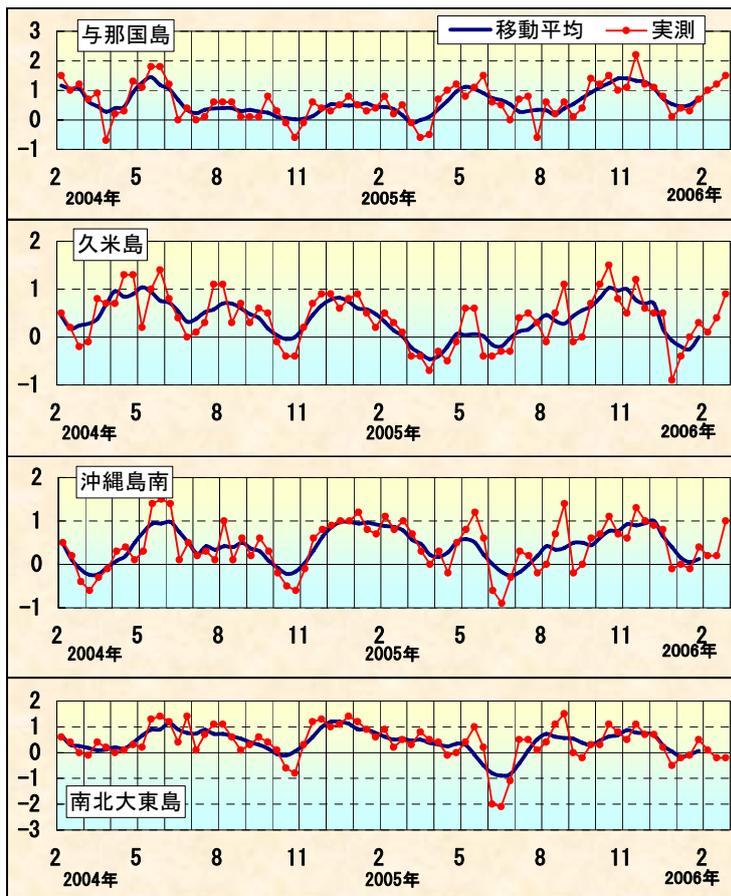
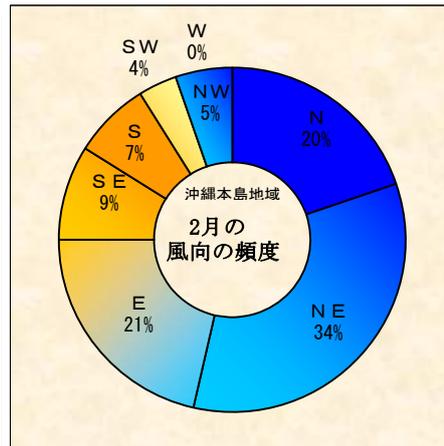


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)
 資料：西日本海況旬報(長崎海洋気象台)



天候：2月は北よりの風が多く、全体の59%を占めた。沖縄本島地域では、風速9m以上の予報日は21日で、全般に風の強い日が多かった。(琉球新報天気欄より)

2月の表面水温年偏差	
与那国	かなり高い
久米島	やや高い
沖縄島南	やや高い
大東島	平年並み

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域でキハダとシビ、伊良部でもキハダとシビの水揚げが多かった。

表1 2月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	計	伊良部	県内パヤオ総
シイラ	1	1	1	4	7	6	18
クマガキ	0	1	0	0	1	0	12
沖サワラ	0	0	0	0	0	0	1
カツオ	0	0	0	0	0	1	2
キハダ	11	11	2	10	34	15	105
シビ	5	6	3	3	16	17	52
メバチ	1	0	0	0	1	0	6
計	18	19	6	18	60	39	195



ウメイロモドキ (ひらーぐるくん)

糸満では、キハダ(10kg以上)が11.2t、シビ(10kg未満)が4.9t、漁獲された。港川でキハダが10.6t、沖縄市でキハダが9.5t、知念でキハダが2.4t、伊良部ではキハダが15t、シビが16.9t漁獲された

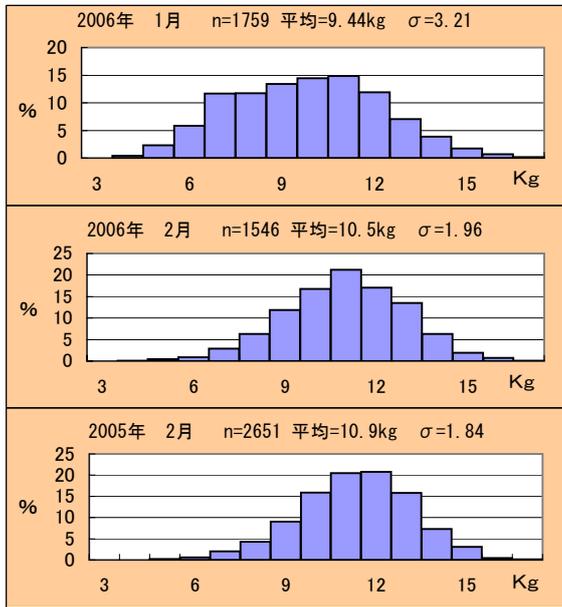


図3 糸満漁協のソデイカ重量(壺抜き)の頻度分布 (横軸の6:5.1~6.0kg)

図3は重量から作成した頻度分布である(nは標本数、σは標準偏差)。2月に糸満漁協で水揚げされたソデイカの平均体重は10.5kgで、昨年2月の平均体重を下回った。

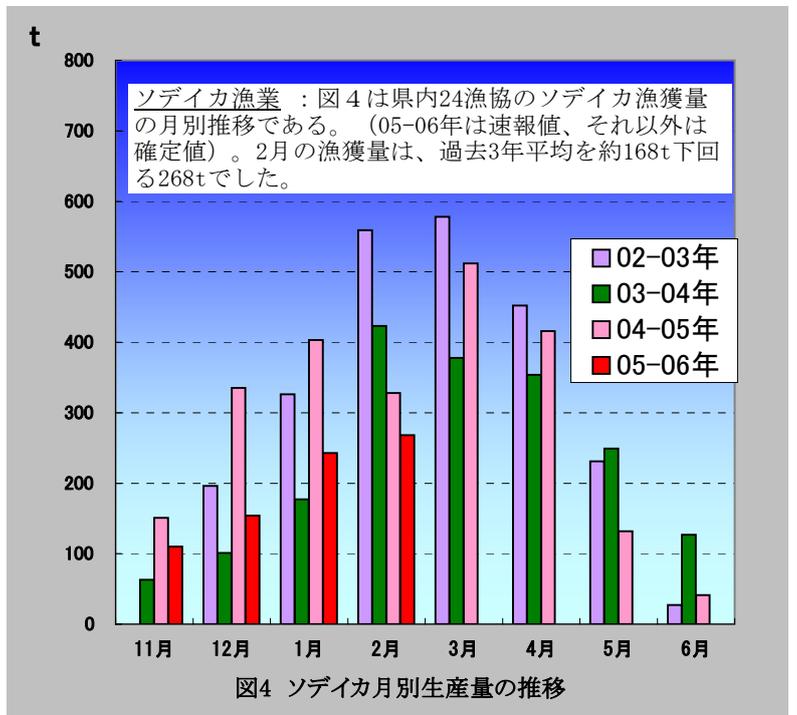


図4 ソデイカ月別生産量の推移

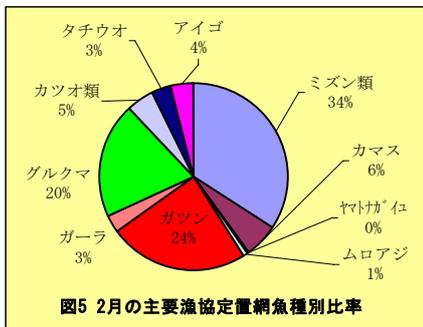


図5 2月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：2月の全体の漁獲状況は、先月(7.714kg)と比べて減少した。ミズン類の漁獲が34%を占めた(表3、図5)。

表3 2月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置				合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	石川	名護	勝連	与那城	金武		
ミズン類	16	1	8	938	140	181	8	1,293	1,396
カマス	8	20	49	34	36	70	4	222	240
ヤマトカレイ	10	0	0	0	1	0	0	10	10
ムロアジ	7	18	0	0	0	0	0	25	25
ガツン	58	335	431	9	54	19	1	906	1,111
ガーラ	21	10	28	9	7	38	0	114	182
グルクマ	0	108	592	0	33	19	6	758	777
カツオ類	0	45	39	0	26	73	0	183	189
タチウオ	6	45	41	8	25	0	0	125	130
アイゴ	0	33	4	1	61	49	0	148	595
合計	126	616	1,191	999	383	449	20	3,783	4,654